

分類の内訳

A：庁舎建設に関すること

78

番号	意 見	区 分1	区 分2
82	図面などは外注して作られると思うが、一番肝心なのは、庁舎を中心にまちが広がっているわけであるから、外観であるとか、例えばお城みたいなわが市の庁舎である、などそういうところにも着目して、デザインなりいろいろな面で誇れる庁舎を造っていただきたい。専門的に考えてあの建物の北本市かと思えるようなものがほしい。そういったものを考えるのは行政の責任であると思う。 →まさしくそのとおりでございまして、費用対効果最小の経費の中でいかにシンボリック的なものを造っていくのか、頭を悩ませるところではありますがご指摘のとおりご意見は重々検討してまいりたいと思います。	A	1
98	庁舎の建設については、建設ありきで議会もOKを出しているので、それを全面的に出していくほうが良い。	A	1
102	合併したとしても支所としての機能は必要であり、造る必要はある。	A	1
121	庁舎の建替えは必要であると思う。	A	1
148	庁舎の建て直しは必要だと思っている。	A	1
173	市の建物を見れば、建替えが必要なことは理解できる。	A	1
185	庁舎は相当老朽化が進んでいるので、建替えは必要であると思う。	A	1
201	庁舎は、現在のものだとみすばらしいので、是非建替えを行ってほしい。	A	1
268	庁舎は老朽化し、来庁者・職員の安全、ユニバーサルデザイン（バリアフリーを含む）、分散化によるわかりにくさと不便さなどから、建替える時期にあると思う。	A	1
297	新庁舎建設には賛成するが、無駄、無理のないよう市民のためにもよき新庁舎を考え下るようお願いする。	A	1
301	財政的目途がつくならば、市庁舎の建設は進めるべきと思う。	A	1
311	財政難とは言え、現在の老朽化した庁舎から新庁舎建設への移行に異論はない。又、幼児教育及び保育施設、子育て支援の重要性を否定するものではない。	A	1
347	現市庁舎は老朽化しており、早急に手を打つ必要がある。	A	1
355	A案がよいと思います。	A	1
294	文化センターや小中学校の空きスペースを利用すればよいのでは。（地震がそんなに心配ならばすぐやるべき）	A	2
295	住民に、借金をこれ以上、背負わせないで下さい。	A	2
296	他市と競うようなバカな真似をいまだき考えるなんてどうかしている。	A	2
299	時代錯誤もはなはだしい。バブルのときの計画を持ってくるな。	A	2

306	新庁舎の建設について、まず「なぜ今、突如出されたのか」の疑問が残る。基本的には、将来的には賛成の一人なのだが、市の財政状況が厳しく不透明な中、数年先の建設にせよ、決定は時期尚早と考える。	A	2
354	説明会であったような近年建設された、他の市町村に負けない過大で豪華絢爛な庁舎を建設したいなどは、時代錯誤も甚だしいと言わざるを得ない。積立金では全然足りないので、今後の世代に借金を背負わせたいなど言語道断、市民を一体なんと心得ているのか、打ち出の小槌？まず、効率化・民間委託・IT化の徹底により現市庁舎人員（300人くらい？）を半分以上にする位に徹底的に詰める、そこから更に分散化すれば市庁舎に本当に必要な人員は、段階を追えば100人以下で十分なはず、現計画の建設面積の4分の1以下で良いくらい、なんで現庁舎の2倍の面積の建設で十分である。建設場所も制約の多い旧市街へ建設、今更現状の旧市街へ血税を注ぎ込んでも効果は少ない、どうせ使うなら土地も広く使い勝手がよく、発展の見込める新市街（特に南部地区）に建設すべき、そうすれば懸案事項も一気に解消されコスト効果も非常に高い。	A	2
357	急いで作ることは反対。景気回復に貢献しようという考えがない。自衛の体制をとらなければいけない時期ではないか。	A	2
18	PFIのほうが効率的と考えるほうが良い。	A	3
43	資金計画を作り、庁舎建設基金の中で建設すべきである。	A	3
72	これまでに建設資金は庁舎建設基金の25億円ありきということで進めてきて、事務局としては29億円という提示をしたところ、議会の建設委員会は25億円ですすめているから、29億円のものには乗れないということで、我々も25億ということで調整したはずだった。この資金計画はどこからでたものなのか心配である。	A	3
80	PFIについても、検討してきている。庁舎では活用が難しいと思われるが、実際に寄居にはゴミの焼却施設などが出来ている。刑務所をセコムが運営しているなどPFIの事例も多くなってきていることから、そういうことを検討する必要があるのではないかと。 →PFIの活用については検討を行っておりまして、委託業者である公共建築協会とも話をしたが、基本的にはVFMがなかなか出ず、保育所の保育料を取ったとしてもかなりの年数がかかり難しいとの印象である。	A	3
101	建築方法でPFIなどによる検討もあると思うがそれでも10億足りない。足りない分を何年で返していき、どう負担が増えるのかなど総合的な裏づけがあると市民と説得しやすい。	A	3
103	財政的な裏づけをしっかりと持って他を圧迫しないようにする必要がある。	A	3
126	仮設工事費削減のため、公民館を使ってみてはどうか。検討に入れてほしい。	A	3
127	金額的に言ってC案(庁舎単独案)が良いと思う。	A	3
128	庁舎は30億円くらいで建替えると進められてきて、そこに保育所が入ってきた。34億という数字となっておりびっくりしたところである。	A	3
168	お金の話は大変であるが、北本だけが厳しいわけではないので、長い目で見てよい方法をとってほしい。	A	3
190	PFIについては、どのような検討をおこなっているのか。民間の参加は見込めるのか。 →PFIについては、併せて検討を行っていますが、この規模の庁舎では、VFM（バリューフォーマネー）が出にくいなどの話があり、PFIの活用は難しいと理解しています。	A	3

194	庁舎を建てることによって、税金が増えるなど市民からの援助がないものとしてほしい。	A	3
195	民間の場合でも、予算の範囲の中で建てている。庁舎だからといって税金を上げてまで、造るようなことはしてほしくない。 →庁舎を建設することによって、税金が増えるということはありません。	A	3
199	資金的なもの、庁舎建設基金が約25億円あると聞いている。それを超えて計画がされているが、資金調達がスムーズに行くのか。市債が残ってしまうのは、いい状況ではないか。最近、市の方で赤字との報告も聞いていることから、後世に負担を残さないほうが良いのではないか。 →現在、庁舎建設基金が約25億円ありますが、条例が改正されない限りは庁舎の建設にしか使えないこととなっています。また、地方債の算定については、通常の起債と違い、市の職員数によって算定される仕組みとなっており、約10億円程度借りることができるかとされております。地方債の性質としては、財政のバランスが保たれれば、地方債は必ずしもそれほど悪いものではなく、今後も十分に検討をしてみたい。	A	3
219	借金をしてまでして建替えるという決心をした理由を詳しく聞きたい。返済の目途などはついているのか。 →起債をどのような形で行うのかということまでは、まだわかりませんが、財政ともきちんと調整を行いながら適正に進めていきたいと考えています。	A	3
226	地方債について、10億円との想定とのことだが、返済についてはどう考えているのか。 →地方債の10億円については、職員数から算定される上限としてお示ししたものであり、庁舎建設基金や財政状況等を踏まえ事業費を検討してみたい。	A	3
227	夢は大きくバラ色の計画に見える。資金面はどうするのが課題である。市債を起すことができるとあったが、いずれは返さなくてはならないお金である。試算的なものを行っているのか。	A	3
234	大きな事業を簡単にやろうとしている。もっと掘り下げて、事業費も下げていい物を造っていただきたい。	A	3
235	財源とか、返済の予測、維持管理費等についてはどう考えているのか。維持管理費については単純に、1～2千万円の増が見込まれる。それが、一般財源から出すことになるので、道路事業などに影響してくるのではないか。 →現時点は、基本計画の前段階ということであり、今後それらを含めた検討を行ってまいります。	A	3
236	庁舎建設基金があるからといって、それは元は税金である。北本市の財産である。19年度の決算で、公債費が15億円くらいある。そのうち3億円くらいは利子の分を払っている。借金をしなければ利子を払わなくてもよい。基金が25億円あるのだから、それに上乗せして借金をする必要はない。	A	3
238	基金の範囲内で、実質的にやっていけるものを検討してほしい。	A	3
241	基金の範囲内で建てますというべきであり、建替えることによって市民サービスがよくなりますなどを全面に出すのは、前向きに考えてもらいたいために言っているようにしか感じない。 →基金の範囲内での建設についても、今後検討を進め、庁舎建設委員会や庁舎特別委員会などに情報を出しながら進めてまいります。	A	3

248	庁舎建設について、補助金などはあるのか。 →他の施設と違って、補助金等の措置はなく市の財源による建設となります。	A	3
262	A案、B案、第1庁舎すべてを壊すと議会もあり、仮設費用が増え保育所の用地費くらいになってしまうのではないかと。	A	3
264	P F I は検討することとすべき。	A	3
78	もう一点としては、現状の庁舎が様々なランニングコストやメンテナンスの維持費等が年間いくら位かかるのかを知りたい、議会の委員長報告をしたのは、資金計画の面を大変重視しておりまして、新庁舎は機能を重視した庁舎とし、建設費の縮減とともに建設後の維持管理費を考慮して検討する必要があるなどの項目があげられています。ところが、これら六項目のうち一項目しか入っていない、財政的に厳しいので現状では24億円の基金があるがその内3億から4億の基金を流用しており、実際には20億くらいでまわしている。3億から4億ないといざというときまわらない。そういう中で、箱型6階建て児童館併設型との構想が出ているが、議会の庁舎建設特別委員会が示した項目からは、矛盾していると感じる。この2点については、担当者もコンサル任せで資料だけ出しているように感じる。 →現状メンテナンスとランニングコストを合わせて約2億強くらいかかっている。建替えにより地上6階、地下1階、耐用年数が60年くらいのもとなるとかなりのランニングコストがかかると想定される。37億円との計画などを踏まえると市民感情とかなりかけ離れた計画となるのではないかと。今後、これで市民に説明を始めるとこれで走ってしまうのではないかと。我々を納得させる会議を持つなり議会を説得させるような材料がないと、今考えただけでも大変な問題を市として抱えてしまうのではないかと。	A	4
108	一番感ずることは庁舎を造った後の財政状況であり、1万平米の庁舎を建設したときに、現在の庁舎の保守管理費に対してどのくらい加算されるかということを説明すべき。最低でも1～2千万円のプラスになると思う。	A	4
109	維持管理費も一般財源で支出していかななくてはならない中で、その分が予算編成の中でどのくらい影響してくるのか説明する必要がある。	A	4
110	負担がそれほど変わらないのであれば、わざわざグレードを下げる必要はなく、負担が大きくなるのであればその辺を考えなくては行けない。	A	4
111	造ることはできると思うので、その後の説明をすべきであると感じる。	A	4
134	A, B, Cの解体費用、ずっとかかっていく費用、維持管理費等の説明ができる準備が必要である。	A	4
3	15年3月に庁舎を速やかにつくるとしたところである。折衷案が提示され、それで行く気配であるが、庁舎建設のスケジュールの確認をしたい。	A	5
39	今後、市民や団体などの話を聞くところがあるが、それをどうやって決めていくのか。判断していく基準はあるのか。かなりの意見が出てくると思う。 →H19、20年度は基本計画を策定していくが、ここでは、配置計画を作る程度であり、そういったもので同意を得ていき、基本設計でつめていく予定です。	A	5
69	庁舎を建てるのかどうか検討をしてきて、今後どういうものを造るのかということについては、今後、基本設計等が出てくるものと思われ、今後の委員会等できちんと詰めていただきたい。我々としては、庁舎を建て直す、それがどういう庁舎になるかということの基本構想の中で踏まえてあるので、その通りのものを造っていただくしかないという形である。そこにどの程度の付帯的な設備を造るかということは市の方で十分検討してもらえない。	A	5

75	最終的にまとめた庁舎建設基本構想については、このまま採用されるという理解でよろしいのか。 付帯設備等いろいろでているが、庁舎そのものとしては基本構想を活かしていくということでのよいのか。 → 答申いただいた基本構想につきましては、活かしていきたいと考えております。この基本構想を受けまして今後、基本計画、基本設計、実施設計と進んでまいります。 当然たたき台がないと目に見えるものがないので、本日このようなものをお示しさせていただきましたが、このとおりのものができるわけではございません。今後の検討により四角いマッチ箱のようなものが、丸くなったり、6階建てが4階建てとなったりと皆様の意見をお伺いしながら、基本設計に繋げていきたいと考えております。	A	5
133	地域に入ると保育所の件や太陽光発電の利用などかなりいろいろな意見が出ると思う。	A	5
210	庁舎建設は、このスケジュールで決定しているのか →決定したものではありません。最短でのスケジュールを提示させていただきました。市制40周年である平成23年度の着工を目指しております。	A	5
229	冒頭で、庁舎建設基本構想や議会委員長報告を受けて進めているとの話があったが、進めることによって市民にどのような影響があるのか話した上で検討してもらいたい。 →現在の計画では、庁舎本体で約28億円と標準的なものとしてお示ししていますが、それを規模の縮小などから基金の範囲内で行うということについても想定しています。 この計画の中では、地方債の活用も見込んでおりまして、地方債は職員数によって算定される面積等によって上限が決められております。その上限まで借りるということではなく、今後の検討によって決まってくるものと考えており、費用対効果を考えまして、必要最低限のものとしていきたいと考えております。	A	5
196	保育所が他にもあって、その他の公共施設もあって全体を見る中で、庁舎をどう考えているのか。 →保育所以外の公共施設についても検討を進めています。その中で中央保育所は飛びぬけて古く、老朽化や耐震の面からも早急に対応する必要があると考えています。 また、市内の公共施設の整備については、優先順位などについて検討を進めております。	A	6
211	この地域に住む住民として、30数年住んでいるが、駅やスーパーができるということを聞いてこの地を選んで住み始めた。スーパーもでき、住宅地にもなっているが、いまだに駅が出来ていない。大部分の人が、駅が出来ることを望んでいるのではないかと。新庁舎もいいが、新駅の建設についても市として積極的に取組んでほしい。	A	6
212	思い切って市役所の土地を売って、駅と一緒に庁舎を造ってほしい。	A	6
213	情報化社会の中で、庁舎があそこにある必要がないと思う。ある程度、分散しても良いのではないかと。現在の庁舎は離れて建っているから非効率であり、いろいろなものをひとつにまとめたら、効率が良くなり人も減らせると思う。支所などとしてもっと分散化してもらいたい。 →庁舎の場所については、過去にいろいろ検討されてきており、庁舎建設基本構想や、議会の委員長報告などでは現在地に造ることとして答申などを頂いております。新駅の方への移設については、ひとつの案として伺います。	A	6

214	財政破綻している市町村が実際出ており、将来に禍根を残さないようにしてほしい。駅も造る庁舎も造るといっているが、いきなり８０億円とか言う金はない。夢を語るのはいいが、現実を見て絞り込んでほしい。	A	6
233	市民の要望をもっと考えてほしい。基金があるからといって造るといのはやめてもらいたい。	A	6
247	新駅の設置が大きな課題として残っている。一方で北本の予算運営が厳しい状況であり、そのような中で庁舎と新駅を建設するという中で、どうやって乗り越えていくのかということを検討するべきではないか。 新駅設置が進まないのは、財源がないからということが大きいということであれば、財源の一部に庁舎建設基金の一部を使えるという検討をしても良いと思う。それについて、議会や市民のコンセンサスが得られるというのが大きな問題である。 どうしても流用ができない場合、新駅設置を早くあきらめるべきである。人件費なども毎年使われているのであり、早く凍結などの判断をして南部地域の交通利便性の向上について取組むべきである。 基金の一部利用ということも含めて北本市の課題として、新駅設置と組んで考えていかなければならない問題であると思う。 →新駅については、JRに対して粘り強く要望を行っているところであります。庁舎建設基金につきましては、条例で庁舎建設に対して使用するとされておりますので、このような意見があったこととして承ります。	A	6
348	市政にはやるべき事が長・短期で山積している。その中で手順を踏んで（行政サイドの論理ではなく民のサイドに立って）優先順位を明確にすべき、市の財政状況は決して余裕のある状態ではない。	A	6
349	今市民から求められている事項のなかで新庁舎建設の優先順位は決して高いとは思われない。一般市民が年に何回市役所に行くのでしょうか？	A	6
350	現時点で中・長期に市政の優先事項は少なくとも、高齢化・少子化に備えた諸々の対応の方が高いはず。（例、医療、老健施設、これらの特に運用コスト等）	A	6
141	場所が偏っていると使いづらい、市の中心的な所にあるのは良い。	A	7
239	用途地域の課題もあると聞いている。 →現在、用途の緩和について県、国との協議を実施しております。	A	7
243	庁舎を現在地に建設するということは、大前提であるのか。郊外の安い土地を買って建設を進めたほうが安くできるのではないか。現在の土地を売ることもできるし、将来の合併に向けて郊外に建てたほうが将来中心となるのではないか。また、庁舎を移転すれば仮設庁舎もいらなくなるし、引越しも一回ですむのではないか。 →庁舎の建設位置については、これまでに多くの検討がなされてきていて、現在地に建設するということが決定事項とされております。	A	7
266	合法的に事業を進める上で、用途地域の問題に対し方法を明確にすべきである。スケジュールにもその手続きが記されていない。近隣の良い住環境を確保する点がポイントですから、明示して進めなければ後で問題になり、事業の中断をまねきかねないのではないのでしょうか。交通アクセス、日影、緑化、電波など	A	7
333	将来性を考えた場合、新庁舎の位置が現在の場所では目立たなく、敷地面積も狭く他の場所を模索したほうが良いのではないかと思います。例えば、南大通りと計画のある西中通り線の交差する場所とか。勝林雨水2号幹線に蓋を掛けて歩道にするとか。	A	7

9	庁舎と文化センターとの一体性も考慮してほしい。	A	8
53	A'案(保育所併設)が一番良い。	A	8
83	A, B, C案は場所の問題である。ダッシュの案は除いてこの三案でどうするのかを決めればよいと思う。どういう風にシンボリックとしていくのかを決めるべきである。どういう風にしていくのかは十分検討してきたのであって、まず庁舎をどうするか決めなくてはいけない。	A	8
179	浦和パルコなどは、図書館や会議室があり、窓がない会議室もあったりするので、参考としてみてもいいのではないかな。 →市役所は、いまでもいろいろな活動をしているので、今後も、敷居が高くはないものとしていきたいと考えています。	A	8

B:庁舎規模・機能に関すること

101

番号	意 見	区 分1	区 分2
26	案では建物が長方形で吹き抜けがあるが、この形が最近の流行なのか。 →あくまでも案でありますので、今後基本設計等を作っていく中で形が変わることも可能性としてあります。	B	1
35	上尾市役所のように、吹き抜けがあるケースだと雑踏が聞こえてきて落ち着かない。市役所に来て疲れるようになってしまう。エコなどの考えも必要だが、機能についても併せて検討してほしい。	B	1
40	地下施設と吹き抜けは、コスト面等から最小範囲でいい。	B	1
56	トップライトは、日が入ってくると非常に暑い。日よけなどの工夫も必要ではないか。	B	1
76	現在の図面だと吹き抜けは5階まであり、空調や採光に配慮したとあるが、吹き抜けは2階まででいいのではないかな。無駄な空間であると感じる。 →今回の図面は配置図としてお示しさせていただいております。平面図はたたき台として出させていただきました。費用対効果等を考えますと、例えば吹き抜けは2階までとし、3階からは執務室のみとするなどの考え方も可能であり、そういったご意見をいただきたい。	B	1
97	トップライトが計画されているが、決して安いものではない。	B	1
125	吹き抜けが図面では表示されているが、回廊のようなものになるのか。 →吹き抜けについてはいろいろな見解がある。採光や換気などの面で有効であると思うが、2階くらいまでとしても良いのではと思っている。 北本美術館とまでは言えないがそのようなものを造っていきたいとは考えている。現在市では、アーツキャンプなど芸術面でも力をいれており、みんなが集まれる場を作っていききたい。	B	1
144	吹き抜けは、全部の階を通してしまうと床面積が取られてしまうので一部分でいいのではないかな。	B	1

174	説明された中で、どのパターンも吹き抜けがあるが、吹き抜けを造った部分での効果や役割、費用対効果などはどうなのか。 →吹き抜けを設けると、採光や通風、換気の面で有利となるが、費用対効果等を考えると、2階くらいまでのものとし、3階より上は執務スペースとして位置付けても良いかと思います。	B	1
176	吹き抜けを無くせば、建築費の削減やスペースの確保などができる。 →吹き抜けを無くすことについても検討していきたい。採光の関係や市民広場との調和などを考慮し検討を進めていきたい。	B	1
177	吹き抜けの代わりに階高を高くして圧迫感をなくす方法もある。また、吹き抜けを無くして階数を減らすことも可能ではないか。	B	1
192	吹き抜けが、全階に設置されているが、民間の建物でも見受けられない。もう少しコンパクトにしていけば資金面も減ってくると思う。 →吹き抜けについては、2階程度として圧迫感が無いようにして、そこに市民スペースなどを造って市民の皆様が寄れるような場所としたいと思います。 3階以上については、執務スペースなどとした場合の検討も行ってみます。	B	1
207	市民ホールについても、文化センターが隣接していることから、現状であればそれほど広いスペースは要らないのではないかと思います。	B	1
280	待合としてのロビーは必要だが、市民ホール・吹き抜けは、規模見直しのポイント。文化センター、会議室、議場などスペースを活かせたらさまざまなイベントが出来る。	B	1
304	吹き抜けについてもショッピングセンターでないからその必要性なく、暖・冷房効率上コストがかかり、CO ₂ 排出が増加する。	B	1
44	見栄を張るようなものではなく、機能的な部分で対応すれば良い。	B	2
45	中身(必要機能等)のことは、職員のほうが良く知っているので、よく議論してシンプルで予算の範囲内のものを造ってほしい。	B	2
93	この図面で提示されている庁舎は、一般的なものが示されており、決して安くはないと思う。普通の事務所形式が一番単価が安いはずである。	B	2
114	庁舎内への喫茶室の設置は、文化センターとつぶしあいになる。そういったものは民間に任せるべきである。	B	2
208	市役所であるので、華美にする必要もなく、ランドマークとなるようなものとしなくても良いのではないかと思います。	B	2
269	財政は厳しい状況にあり、背伸びをした規模、過剰設備は不要だと思う。	B	2
337	多くの人は新庁舎＝華美なイメージが頭の中にこびりついている？個人的にはどうしても華美なイメージがある。	B	2
47	コンビニや農産物直売所なども設けて、市民に開かれた場所として欲しい。	B	3

94	喫茶室は、大きなものを造ると文化センターの喫茶店と共倒れになってしまう。	B	3
96	特産品売り場、NPO、福祉事務所などの機能を果たせるようなものがあっても良いと思う。	B	3
100	子育て支援だけでなく、高齢者なども考え、一体性を持たせても良い。	B	3
117	庁舎の一部を協働のスペースとして使うことがふさわしいのではないかな。	B	3
118	将来の転用なども考えて、ベランダを周りに付けておくのも良い。高齢者専用の賃貸などの発注も浮かぶ。	B	3
124	14年位前に新井市長の時代に市庁舎の建設の折には、美術館を設置してほしい旨を文書で出したことがある。今ある規模では、小中学校の文化祭の域を出ない。	B	3
180	年寄りの方々も交えてコミュニケーションができるような施設もほしい。	B	3
189	保育所だけ考えているが、高齢者の施設との合築についても必要であると思う。子供たちが同じ世代としか触れ合わないのは問題であり、同じ造るのであれば、高齢者施設の併設についての検討もしてほしい。	B	3
242	A, B, Cの三案があるが、C案がよい。市役所とは、本来事務機能があればいいのであると思う。	B	3
246	大きいスペースがあるのであれば、職業安定所などを設置してみてもどうか。北本の人々が北本で働けるような環境を検討してほしい。	B	3
252	ねぶたの倉庫は、どのような扱いとなるのか。	B	3
255	庁舎内に食堂を設ける。職員あるいは市役所に来る市民のために安価で提供できる食事を供する。	B	3
256	庁舎上階にマンションを。建設費負担を少しでも引き下げることができる。	B	3
261	新庁舎建設には色々な意見（合併等）が有ると思うが、要望として、これまで掘り起こした貴重な遺跡、資料等北本を知ってもらい、見てもらうそして北本市を歩いてもらう場所、歴史・郷土資料館があればよいと思う。	B	3
263	倉庫に500㎡位は必要であり、作業スペースを含めたバックヤードをどこに置くのか、かなりのスペースが必要と思う。本体庁舎に隣接すべきである。	B	3
277	各課に会議室は不要。打ち合わせコーナーは必要。会議室は、一つのアクセスしやすいフロアに集約し、貸し会議室として市民に開放できるようにする。インターネット等で予約し、低価格で利用できれば、無駄なく使える。一部休日は、フリーで学生に学習スペースとして開放する。（平日は職員の食事の場として使うことも可能）	B	3
314	財政難の折から本来の機能を優先すべき。或いはより広範な市民の活用、憩いの場に新庁舎が担うことは文化都市・北本市として望ましい。（例）美術館を併設（本来、文化センター等にあれば不要。但し、現行の展示スペースは単なる空きスペースの活用に過ぎないと思う。）	B	3
319	メインとなる接続道路が、何になるのかははっきり見えてこない。災害時の拠点となる市庁舎となれば、災害に協力する車両等が終結するので、幅員の広い道路が必要かと思われる。また、災害時に必要なヘリポートなどの計画はないのですか？	B	3

331	敷地内の埋設管は極端に浅い箇所があるが、新庁舎建設においては管理基準を作っておくのも良いかなと思う。（例：床はOAフロア、コンセントもOA用のアース付き、事務スペース照明は小まめに消灯できるタイプ、通路は人感センサー付きetr）	B	3
332	課から課への案内については、第一庁舎などは窓口番号で案内をしているようだが、世帯が大きくなると番号では困難な場合があるので、JRみたいに色別の誘導はいかがか。	B	3
344	投票所として使用できる、ある程度囲われたスペースを確保すること。期日前投票所として使用できる、ある程度囲われたスペースを確保すること。	B	3
345	選挙管理委員会への利用を担保すること。（他課の使用や市民への貸し出しへの最優先使用）。	B	3
346	投票所設置のためのスペースがない、または、利用が担保されていない場合には、仮設の投票所を設置できるスペースを敷地内に設けること。選挙管理委員会事務局は、選挙の執行に際し、現在の総務課内での事務スペースの狭隘及び市民、選挙関係者への対応から仮設の事務所を敷地内に設けて選挙事務を行っているため、新庁舎建設にあたっては、事務スペースを庁舎内に確保すること。確保されていない場合、仮設の事務所を設置できるスペースを敷地内に設けること。	B	3
52	屋上緑化について、戸田市がリサイクルのフェルトを作り特許をとって対応している。視察をしたほうが良い。	B	4
55	グリーン庁舎などのエコ関連に関してどの程度の効果を見込んでいるのか。 →現段階では、留意すべき項目としており、専門の先生などにも意見を聞いています。	B	4
143	屋上緑化なども推進してほしい。	B	4
284	住環境を踏まえた緑化計画が必要である。維持管理の面からも樹種の選定は重要である。	B	4
285	I S O 1 4 0 0 1 を看板に掲げている北本市ですので環境配慮型の庁舎を目指すべきと考える。C A S B E E の S クラスを目指すくらいの特徴ある庁舎とすべきではないか。	B	4
286	エネルギーとコストを抑えること、維持管理費がかからないこと、これは後の時代のものが重荷とならない施設として十分な検討が必要である。	B	4
287	雨水の中水利用は積極的にすべきではないか。洗浄水や散水への利用は水道料金の削減に有効と考える。井戸水の水質がよければ、活用し、災害時等の断水時及び日常の利用に有効と思う。	B	4
288	屋上緑化は単に施せば良いものである。メンテナンスが必要なので、人が出れ、視覚的効果のある部分等に場所を選んで行うべきである。	B	4
289	断熱、複層ガラスの仕様は常識になっていると考える。あえて予算をはずして提示するものでもないと考える。	B	4
290	建設コストを抑えることは重要だが、環境配慮方の庁舎を作るには、初期投資も必要である。後の世代に、お荷物にならない視点からバランスを取った計画を望む。	B	4

327	屋上緑化も良いが、今現在職員ボランティアによるグリーンカーテンが毎年行われて、それなりの成果を上げている。継続して進めていくべきだと思う。雨水利用を考えている計画の様子なので、新庁舎になったからといってやめないで欲しい。	B	4
328	外光や風が抜けやすい構造の庁舎を考えて欲しい。空調設備の費用の節約になる。	B	4
84	これから先必ず合併等の問題がでる。合併となると北本市が支所としての扱いになる可能性が大きく、議会棟が必要なくなる可能性があるため、議会棟を入れない案も作っておくべきである。	B	5
85	議会棟は現在の規模が非常に小さく、建替えによって大きくなる可能性がある。坪単価も他より高くなる。	B	5
86	第4庁舎を議会棟とするなども考えてみるべきである。	B	5
87	どこの市町村でも合併後の議会棟の扱いには苦慮しており、あまり広いスペースはいらない。	B	5
88	議会棟を入れないで県下に誇る庁舎づくりをしてほしい。	B	5
113	議会棟がいらないのではということ言うべきである。	B	5
279	議場も年に何日も使われず、閉鎖されている。市民に開放して、利用できるようにフレキシブルなつくりにしたらどうか。	B	5
12	レストランとか余計な施設はいらない。事務所機能だけでよい。	B	6
15	耐用年数が60年の建物を造って、60年後にどうなっているのか想像しないといけない。60年間持たせる部分はどの程度必要で、20年程度あればいいスペースはどの程度必要なのか、検討しておかなければいけない。	B	6
16	保育所を先に建てて、庁舎はプレハブなどで作っておけばいいのではないかな。	B	6
132	建物の構造は何か。 →RC(鉄筋コンクリート造)である。	B	6
197	建物の耐用年数はどのくらいとなるか。 →鉄筋コンクリート造で60年を目安としております。	B	6
198	耐震設計については、どう考えているのか。 →建物の耐震性の確保については、設計基準も厳しくなっており、当然それを満たしたものとしてみたい。また、地盤に関しましても、調査を行い必要に応じてくいを打つ、地盤改良を行うなどの対応を行います。 災害時に防災拠点としての機能が発揮できるようなものとして考えております。	B	6
240	地震対策が絶対的に必要であると思う。そういう意味で、市役所は職員やそこにくる市民の命の補償ができればよく、最低限のものを造ればいいのではないかな。	B	6
106	プランは非常にいいプランであり、そう問題はないと思う。	B	7

135	今の庁舎と比べてどのくらい大きくなるのか。そういった資料も必要である。	B	7
187	場合によっては、半分程度の大きさのものを造って、将来的に増築ができるようなものとしてもよいのではないかと。 →ご指摘のとおり、第3,4庁舎を残して庁舎の規模を小さくすることも考えられます。今後の参考としてまいります。	B	7
205	案の庁舎規模が現在の倍くらいとなっているが、職員が減ることはあっても増えることはない中で、このような規模が必要なのか。 →庁舎の規模については、総務省や国土交通省から出されている算定基準により、職員数などから規模の算定を行うとともに、最近の他市町村事例なども参考として想定規模を算出しています。 また、会議室を兼ねた職員の食事スペースの確保や、算定の数字としては表れてこない臨時職員の数なども考慮したものとしております。 いずれにいたしましても、今後、基本設計等を行っていく中で市民の皆様や職員の声を聞き、必要最低限の規模としての庁舎としていきたいと考えております。	B	7
218	人口減少を踏まえた想定をした規模となっているのか。 →少子高齢化によって今後も人口が減っていくものと推定されます。北本市においては、将来人口も71,000人と横ばいとして考えています。 庁舎規模としては、10,000㎡を見ているのですが、職員が自席で食事を取っている現状などから、会議室と兼用できるスペースの確保など、現状の庁舎よりは余裕を持ったものとしております。 規模の算定に当たっては、職員数を基本として算定しておりますが、今後、市民の皆様の意見を伺いながら計画を進めてまいりたいと考えています。	B	7
231	いずれ合併について考えなくてはならないと思う。そのときに、余計な建物とならないかよく検討してほしい。2～3階建ての建物で充分ではないか。	B	7
271	安かろう、悪かろう・・・後の苦労は、人任せとならないようようにするには、適切な規模と内容を改めて見直すことではないか。	B	7
303	新庁舎の面積を減して積立金のみで建て、後年負担をしなくてすむように。説明の中で和光市を例として上げたが、和光市は北本より人口が一割多く、将来高齢化しない地域と県が試算している。北本は今後人口が減少する予想がたっていて、職員数も減らす予定である。現在の5,400㎡を1.85倍の10,000㎡にする根拠がない。	B	7
305	私の提案としては、現在の面積の20%増及び子育て支援センター他共働スペース2,000㎡として計8,500㎡程度とし解体、外構含めて積立金の枠内でおさめてほしい。	B	7
307	6階建ては如何かの疑問である。周辺の住環境、35億の建設資金等を考えると、縮小できないのかといわざるを得ない。一説によると現在の地は、高層建築は不能とかのようだが、近隣からも既に苦言が出ているようだ。	B	7
334	用途地域は2種中高層低層住居地域である。事務所は2階以下、かつ1500平米に規制されている。現庁舎は4棟に分かれている。1棟ごとに見れば、概ねこの基準に合致している。この状況は当地区の周辺事情に合致している。これらを踏まえて新庁舎計画を立てるべき？	B	7
335	現在の敷地面積を確認。建ぺい率、容積率から、床、のべ床を確認。可能な最低階高を検証する。その上で、制約条件等から現実的な床面積から階高を判断しては？	B	7

336	まず、1500㎡以下を「やむを得ず」何㎡以下に緩和するか。次に、2階以下を「やむを得ず」何階以下に緩和するか。市の施設だけ、無制限に緩和するのはイメージが悪い。市の努力を示す。階高の違いによる建設費の差もちゃんと比較しておく。低層の方が安いイメージがある・・・イメージ重要。仮庁舎も文化センター、北本中など既存施設の活用でしのげないか？(コストも重要だが、イメージは相当重要)	B	7
129	北側入口については、鴻巣市と同じようなものかと考えている。	B	8
278	会議室はガラス張り。長い会議の出来ない、オープンなつくりとすべきである。	B	8
282	自転車による通勤、来庁が多いのが特徴なので十分な配慮が必要です。入り口から離れれば、利用してくれないので、駐輪場の位置は重要です。	B	8
283	文化センターとの駐車場の共用、歩行者の通路、庁舎の北入り口は配置のポイントと思う。来庁の際、図書館への立ち寄りも多いと感じる。	B	8
320	庁舎敷地に緑樹帯が多く見られるが、害虫の付き難い、管理のやり易い樹木の選択を考えられたほうが良いと思う。	B	8
321	周囲に個人住宅が点在しているが、将来的には買収等により庁舎敷地に組み入れた方が管理しやすいと思う。	B	8
322	北側道路から南側道路に直線的に通る抜けの通路は危険性があり、思わしくありません。(A, Cプラン)	B	8
329	駐車スペースは文化センターとの相互利用を考えると少ないと思う。	B	8
330	現在の第4庁舎側と1, 2庁舎側では高低差があり2段式の駐車場でも良いのではないかと。(将来的に職員駐車場が借りられるとは考えられないため)	B	8
340	昔は中庭があったと聞く。これもいい。	B	8
251	駐車場の規模の想定は、場合によっては、立体駐車場などを設けても良いのではないかと。 →現状134台がA案では160台として想定しております。立体駐車場については今後の検討課題としてまいります。 北本に住んで30年位となるが、北本に住んでよかったとしたいと思っている。そのためには、若い人たちに入ってきてもらう必要があり、保育関係や教育関係に力を入れてほしい。 また、引退した人たちにも安心して住めるようなまちにしてほしい。高齢者と子供と一緒に住めるようなスペースも作ってもらえると賛成である。	B	9
323	新庁舎と文化センターを空中デッキで接続する計画は無いのですか。あると便利だと思う。	B	9
324	現在の庁舎の位置は市街地にあり大変便利だと思いますが、将来、市内循環バス等を運行させるとなると、道路整備に問題があるかなと思う。	B	9
339	意匠は第1庁舎のような沖縄チックなのがいい。	B	9
341	埼玉県庁第1庁舎を2階建てにするイメージはどうか。	B	9

342	または名護市役所のようなイメージはどうか。	B	9
-----	-----------------------	----------	---

C: 保育所併設に関すること

118

番号	意 見	区 分1	区 分2
2	他の3保育所はどうするか、いい提案だと思うがバランスを配慮してほしい。	C	1
4	保育所の大規模化は決して良いとは思わないが、そのチャンスでもある。十分な議論をしないといけない。 民営化、指定管理などの話も検討しないといけない。	C	1
36	保育所との一体化を行うことはメリットがあると思う。	C	1
37	歓声がうるさいなどの話もあるが、にぎやかになると捉えることができる。子供が大人のそばで育つのは必要なことである。	C	1
38	保育所の用地取得経費2億円がなくなるのはよいことである。	C	1
50	保育所や児童館の併設は、災害時に避難所になるなど多目的に使えて良い。	C	1
51	人は人の中で育つので、ぜひ保育所併設としてもらいたい。	C	1
58	A、B案とC案は別物であると思う。C案を良いと思う人もいると思われるので、運用のことなどについても説明しないといけない。	C	1
184	保育所の併設はいいことだと思う。	C	1
5	手法が4つあるうちで本心は一体化なのか。 庁舎建設委員会にはどう説明するのか。	C	2
11	保健福祉委員としての意見、市内4保育所をどうするか議論しないといけない。 ニュージーランドは構想でいろんな施設が入っているところもある敷地としての一体か、建物としての一体かとの議論もある。 勉強会を開き、保育所として守るべきものの等の整理をしたい。	C	2
20	このまま保育所ありでいくのか →課題などがあるので、その課題をどう解決していくのかを踏まえて検討を進めていきます。	C	2
31	保育所と幼稚園との一体化はできないのか。 →県の補助制度がなくなっていました。また、保育所建設の補助制度がありません。	C	2
46	市のポリシーがあれば、保育所や児童館を併設しても良い。	C	2
57	保育所が併設となると、庁舎単独の場合と比べて3倍くらい説明が必要となる。メリットだけでなく、それ以外も説明しないといけない。	C	2

64	指針を踏まえて案とされているということだが、保育所を隣接して建てることについて、その要望があった時点でその旨を説明する責任があったのではないか。議会についてもつい先日報告があったが、今後大いに議論がされることだろう。庁舎を建ててほしい、適正規模で建設してほしいという考えは議会内部にはあるが、少なくともこのような状況については承知していない。 →説明責任については、6月議会の全員協議会において、庁舎を単独で建設することに合わせて、保育所を併設することについてもひとつの案として検討させていただきたいと説明しております。その後、委員長、各委員にも説明させていただいて、8月22日に現在の委員の任期が満了となりますが、これまでの検討と大きく変わった点があることから、この委員会に報告させていただいております。 また、議会各会派にも、同じ説明をさせていただいている経緯がございます。いずれにしても、今回提出した案につきましては、確定したものではありませんので、両案につきまして色々な意見を聞きながら検討を進めていきたいと考えております。	C	2
70	施設を造ることはいいことだと思うが、保育所については教育的なものを踏まえるとともに、現在のところを建替える場合、予算がどれくらいかかるのかなどの検討も必要と思う。	C	2
71	検討資料の中で、メリット・デメリットがあるが、不特定多数の人が来る庁舎に保育所施設を造ることが望ましいのか再考する必要がある。	C	2
73	今回、保育所などが入った図面案が出されたが、これについても確かにこれがベターなのか、確かに案だからこのままではないと思うが、どのような方が描いたのか、どのようなプランニングだったのか。	C	2
89	保育所については、取ってつけたような印象を持つ。	C	2
119	保育所は、一体として建築することによって今のところよりも維持管理費がかなり高くなると想定される。	C	2
120	保育所について現在との比較をしておく必要がある。	C	2
149	併設する場合、園庭がきちんと確保できるのか。また、泥んこ遊びができるような庭になるのか。学校の校庭だと硬くてそのように遊べない。	C	2
156	庁舎敷地へ移転した場合、その時点で中央保育所に通っていた人はそのまま通えるのか。 →そのまま通えます。引越などの時期も庁舎と併せるようになると思われます。	C	2
157	配置計画案のC案の場合で、保育所と庁舎を離れた建築はできないのか。建物が離れていたほうが安心を感じる。 →C案の場合、庁舎と併せて建設することとなり、第3,4庁舎の仮設庁舎となり、費用や場所等の課題が出てしまいかなり難しくなります。	C	2
171	今のスケジュールで進めると25年くらいに完成となっているが、一体じゃない場合、保育所の建設は遅れてしまうのか。また、その間、耐震性の問題についてはどうするのか。 →出来るだけ速やかに対応していきたいと考えています。	C	2
172	保育士さん達の意見はどうか。 →まだ意見は聞いていません。市民への説明を先行して行っています。内部の庁舎建設委員会の中では、セキュリティの課題や、園庭などの確保についての意見を頂いています。	C	2

181	保育所の件について、幼稚園も数々あって、6時まで預かってくれたりもするところがある。今は、駅中にもあり、それがどのくらい使われているのかを調べたほうが良い。個人の意見としては、保育所以外の利用を考えてほしい。 →孫育てセンターなどとしての利用も考えられます。 駅ビルを集いの広場として利用していて、おじいさんがお孫さんを連れてくる方もいる。保育とは違って子育て支援の部分となります。 幼稚園からもいろいろな意見を頂いていて、幼稚園で対応ができるとの話も聞いており、今後の検討課題であると思います。保育料の関係から保育所への入所を望まれる方も多くいます。	C	2
220	保育所の併設について、保育所の父兄の方々の反応はどうだったのか。 →庁舎との一体については、よく検討してほしいという意見が多く、今の場所での建替えをしてほしいとの意見もありました。 市内の各保育所はいずれも老朽化が進んできており、全体を見て今後どうしていくのか考えていく必要があります。	C	2
250	C案の場合でも保育所の検討をしたほうがよいのではないかな。 →C案に関しては、庁舎を一番南側に配置することによって既存の庁舎の取り壊し部分を少なくしています。この配置計画で保育所をつける場合、第3、4庁舎のあたりへの配置が想定されます。今後、庁舎建設委員会等にもかけまして議論を深めてまいりたいと思います。	C	2
265	保育園の併設については再検討を希望する。理由としては ①3～5年先の園児の数を見るのではなくて10年先、15年先にどの位の園児になるのか。大型団地の建設予定でもあるのか。 ②現在幼稚園の数と設置されてる位置関係、或いは数を調査してあるのか？又、将来その数の変動はとなると想定しているのか。 ③通園出来る範囲をどのようにとらえているのか？等、まだまだ先の見通しについて甘いような気がする。	C	2
267	庁舎と保育所を併設しなければならない理由がいまひとつでないか。決して広くない土地に設けること、異種用途区画、交通の錯綜、騒音、セキュリティなど複雑にするメリットはあまりない。	C	2
274	1敷地1建物、可分、不可分の点から、庁舎と一体化する必要があると判断したのか。防火区画、緩衝エリア（ホール）を設けるような無理をしてまで、日常的に交流のない保育所と庁舎を連結する必要があるのか再考すべきと考える。	C	2
291	庁舎も保育所も、市として新たに作らなければならない事は理解するが、庁舎と抱き合わせにすることで世論の同意を得るには、もっと高い相乗効果を説明しなければ、基本構想としてはまとまらないと思う。このまま進めても、ひずみが露呈すると思う。	C	2
292	「牛肉と鰯をお皿がひとつだから、混ぜておいしく料理してといわれても、合わせる必要のないものはなかなか上手に料理できない。結局、皿を2枚に分けた方がよいとする判断も必要です。」	C	2
315	幼児・保育施設の拡充、子育て支援に反対を唱えるのは難しい。が、建設費の問題等を考慮すれば代案を示した上での修正は容易であろうと思われる。	C	2
1	一体で整備を検討するに至った経緯について	C	3

24	保育所の建設については、単独で建設することでまとまっていたのではないかと。 →保育所単体での検討を行っていましたが、保育所建替えの検討を進めていく中で、保育所の移築について総合福祉センター付近や、本町の逆線引き地域付近を検討しましたが、用地費が高くてついでにします。地価公示による算定で5,000㎡の土地を確保した場合、1億7千万円必要となります。実際の売買となりますと、2億円を超えるようになりますので、建物を含めて5億円以上が必要となります。 場所の問題等もあり、庁舎の建設と併せて一緒に検討ができないかお願いしたところでもあります。	C	3
27	保育所の併設について、こども課長から検討を依頼したのか。 →検討を進める中、最終的に土地の課題が解決していませんでした。 現在地は、朝夕の送迎時には、通勤の車などの抜け道になっており交通量が多く危険であり、駐車場も何台か確保していますが不便です。庁舎の敷地であれば、送迎と庁舎の利用がバッティングしないので、安全性が確保できますし、土地の確保をしなくてよいなどのメリットがあります。このようなことから昨年の12月に市長へ報告しました。	C	3
62	市役所に保育所を併設するという案はいつ頃から出たものなのか。平成19年3月に答申するまでにはなかった話であり、説明をして欲しい。 →保育所の併設については、市内の4保育所が昭和45年ごろから建設されており、それらの施設の老朽化が激しいことから、平成19年度に市内部にも検討委員会を設け、公立保育所をどのように整備するか1年かけて検討を進めてまいりました。 平成19年12月に、中央保育所については、既存の敷地面積が2,500㎡と手狭であることや、朝の送迎時の周辺道路の混雑などの問題から移転による建て替え、現在地での建て替え、隣地を買収しての建て替えなどの案により検討を行っており、その中では、工事中の安全面や今後の利用なども含め、今の保育所を別敷地へ移転による建設が一番良い方法であるとされました。 しかしながら、土地を求める話となったときに、その買収費用が課題となっており、公示価格で積算したところ、最低でも1億7千万円となっております。 また、一番の課題としては朝の送迎時には送迎車や通過する車で非常に混雑してしまい、職員が交通整理を行っている状況となっており、混雑の解消にはやむを得ないとして対応しておりますが、安全面について大きな課題となっております。	C	3
68	いままで会議を行っている中で保育所の話は全く出ていなかったのが、本日初めてお話を伺ったところである。 →中央保育所に子供を通わせているが、建物の中で遊ばせているよりは、外で遊ぶことのほうが多い。ここに移設してしまうと建物の中でしか遊べないこととなるのではないかと心配する。	C	3
6	コストだけにとらわれずに子供たちに視点を当ててほしい。できれば避けていただきたい。	C	4
7	子供たちのことを思って造るのか。 学校も児童数が減ってきている	C	4
25	どういう保育にしたいのか。	C	4
153	ざわざわしているような感じがして、子供の集中力が削がれてしまう。	C	4
155	0歳児の保育も考えているのか →増やす方向で考えている。定員に関しても、現在の定員100人から120人へと増員を考えている。	C	4
164	自然の中での子育てが一番であると思う。 →保育の質として、自然の中でのびのびとということが基本であると思います。庁舎と一緒にしたからといってそれが出来ない訳ではありません。一方では都市化に対応した保護者もいて、その意見にも応える必要があると思っています。	C	4

166	鶏小屋、うさぎ小屋などがあるがそれを置けるのか。動物の世話はあこがれとなっている。命の大切さを知ることは必要である。 →建てられないことはないと思いますが、周辺環境との調整が必要となると思います。	C	4
169	保育所を増やす予定はないのか。 →ありません。民間の保育所などもあり北本全体から見ると保育所を増やすほどの需要はないと考えています。	C	4
193	保育所は、自分の家の近くを望むと思うが、どう考えているか。 →保育所については、近いところというのが選ばれる要件であると思われます。建替えをするとすれば、大きく離れた場所とすることは難しく、現在地かその近くであると考えられます。現在地の建替えでは、仮設の建物が必要となり、それには多額の費用がかかることから、現在地から近い庁舎敷地での検討をお願いしたところです。 公立と民間とのバランスを考えていく中で、将来的な保育所の再編についても考えていきたいと思っています。	C	4
215	保育所の併設は、児童の教育上どうかなと思う。出来れば、離れたところに造ったほうがいいのかと思う。 →少子高齢化の中で、子供達を大切にすることはいいことであるが、デメリットの部分もあるとの話も聞かれ、今後も引き続き検討の必要があります。	C	4
273	園庭は、保育所にとっては遊びの場として大切である。この住宅地に、緑や自然を活かし、のびのびした保育所が出来るか疑問である。セキュリティに気を使い、騒音を気にし、日影を気にし、元気な子どもの姿が想像できないのは、私だけなのか。	C	4
8	保育所のキャパを大きくしてほしい。待機児童も多い。	C	5
137	保育園の規模はどのくらいを考えているのか。 →中央保育所は現在100名の定員である、建替えをした場合は120人程度の規模と考えている。	C	5
162	保育所は2階建てとして考えているのか。 →2階建てを想定している。2階部分には、低年齢児の部屋を配置する案としている。	C	5
163	2階に子供の部屋を配置すると父母の負担が大きくなる。通勤時間の合間の時間は貴重であるし、子供が複数いると荷物なども増え、負担が増すようになる。 →こういった意見を聞きながら、設計で対応したいと考えています。2階にホールを持つてくるなどの対応はできると思います。上階から降りられないように、2重扉にするなどの対応もあります。 川口などは、30階建てのビルの中にあり、1階に無い事例も増えています。	C	5
13	栄小学校を利用して、そこに保育所を設置すればよい。	C	6
14	栄小学校など公共施設を今後どうしていくのか議論をしないといけない。	C	6
222	保育所を今の場所に建設した場合、仮設の建物の費用がかかるとされているが、学校等を利用して仮設の保育所として利用できないのか。 →学校の空き教室の利用に関しては、空き教室がどこでどう出るかわからない状況であり、ここ2～3年のうちで進展するとまでは言えず、検討課題としていきたい。	C	6
232	保育所については、庁舎との一体ではなく、小学校などを使えばいいのではないか。	C	6

254	少子化で小・中学校の校舎が空く状況なので、学校内に保育園を併設すれば一貫教育にもつながる。	C	6
317	現在の保育園の建替え費用が市庁舎併設の場合に比べ建設費が大幅に嵩むのであれば建替え時の仮園舎としての市内、小学校など空き教室の利用（併設）を検討する余地があるように思う。このことは「幼（保）小」一元化、若しくは「幼・小」連携にも適うものであると考える。	C	6
22	現在の保育所用地を売ることはできないのか。 →中央保育所は都市計画決定を受けており、縦覧などの手続きが必要となります。売ることに對して、近隣住民が納得していただければ良いですが、そうでない場合は公園等を整備するようになると考えられます。	C	7
23	跡地利用を含めて計画を立てないといけなない。	C	7
28	保育所の現在地は借地なのか。 →市所有地です。	C	7
29	保育所を現在地に建てることはできないのか。 →現在地に建てる場合、庭に造ることは無理なため、一度移転しなくてははいけません。	C	7
90	保育所は現在地を2階建てにし、敷地を確保すればよい。	C	7
91	保育所は木造の2階建てにして、埼玉の県産材を使うなどの考え方もできる。	C	7
92	保育所を無理やり入れるのはどうかと思う。	C	7
123	保育所は空き教室が多いのでそれを転換して利用すればよいと思う。	C	7
130	保育所は疑問である。違う名称として建てるのならば良いと思う。例えば市民が使える会議室や体育センターで華をやっている人がそこが遠いという話を聞いたことがあるのでそういうことができる施設など。 →保育所の設置については、これまで説明を行ってきた中で意見が分かれているところである。大きな問題としては安全性が保てないのでは等の意見が出ている。今後行われる基本設計、実施設計の時点まで結論が出ないかも知れないので、両案を平行して進めていきたい。	C	7
145	保育所については、今の場所が良いと思う。周りが畑であるし、運動会も自然の中でできてよい雰囲気である。	C	7
146	駐車場狭いといっているが、他の保育所も狭く、皆で助け合ってやっているのです大丈夫だと思う。	C	7
147	子供は自然の中で育てたいと思っている。リフォームで対応できないか。	C	7
167	移転することになった場合、跡地をどうするのか。 →現在地は都市計画決定されているので、近隣の方々の意見を聞きながら、使い方を決定することとなります。	C	7
170	今の場所に建ててほしい。大規模なものはいらない。リフォームでも良い。一年間空き教室を借りるなどして、仮設を減らすことはできないのか。	C	7
175	保育所を庁舎敷地に持っていけないでやれる方法はないのか。	C	7

178	現在の庁舎が建築されてから長い年月で手狭となってきたこともある。保育所を隣接してしまうと、将来庁舎の増築をしようとしたときに影響が出てしまうのではないかと。長期的に見ると保育所は他の場所に造るほうがメリットがあるのではないかと。	C	7
182	保育所の跡地利用はどうなるのか。 →今後の検討の中で進めていきたい。	C	7
206	中央保育所は、現在平屋建てであるが、この計画では2階建てとされている。現在地でも2階建てとすれば、狭隘部分に関してはクリアーできるのではないかと。いろいろなものの集約をしてしまうと、将来的につぶしが利かなくなってしまうのではないかと。 →中央保育所を建替えるには、いったんどこかに仮設の建物を造る必要があり、その費用が1億円以上かかることとなってしまいます。 また、現在地で運営しながら建替えるとなると安全面に相当の配慮が必要となりますし、その間の園庭の確保なども必要となります。 庁舎敷地に建設を行う場合、その経費がかからなくなることから、庁舎と併設の可能性について単独の場合と併せて検討を行っているところです。	C	7
223	市役所は、市民全体のものとしてなければならないと思う。保育所と一緒にすることは違うのではないかと。	C	7
253	保育園併設反対、中央保育園の土地が市有地であり、周辺の道路拡張や整備をして再建築すべきである。庁舎隣接では交通安全にも懸念がある。	C	7
316	本来、幼児保育施設は地域密着が望ましい。その為に各地域に配置されているものと推察する。また、庁舎併設は利用者による格差感（施設格差、利用条件の格差など）が生じる素地となる懸念がある。	C	7
30	今後、子供は増えないのではないかと。 →保育需要としては増えています。働く親が増えています。	C	8
63	今後、幼児がどのくらい増えるのか予測しているとは思いますが、今後はそれほど増えないと思われ、現在の建物の建て替えにより対応は可能であると考えらる。交通量もそれほど多くはないので、隣地を買収したり、借りるなどすれば問題ないと思う。現在地において、日中幼児が散歩をしているが、交通量が少ないため安全に散歩ができています。子供の為、幼児の為には環境が良くないといけません。幼児の安全性を確保することが重要である。 →これらの課題は移転することにより、その課題が解消されることとなります。同時期に庁舎の建設の検討が進められていることから、新たな土地取得費用が発生しないなどの利点もあり保育所の併設についても併せて検討をしているところです。	C	8
188	保育所について、将来の保育所利用者についてはどのくらいを想定しているのか。これからは、人口が増えることは考えにくく、保育所の利用者も減るのではないかと。 →現在、市全体で606名ほどの定員があり、そのうち中央保育所は100名の定員となっております。子供の数については、5年後には、少子化の影響もあり減ると思われ。保育所の利用者については、女性の社会進出が進んでいることもあり現状維持または増を見込んでいます。 中央保育所についても100名程度の定員は必要であると考えております。また、将来的には、民間との再編についても話として出てくるものと考えております。	C	8
191	保育所のエリアを大きく取っているが、少子化がどんどん進んでいく中で、保育所が運営できなくなった場合のことも考えなくてはいけない。	C	8

202	保育所については、需要を予測する必要がある。過剰な投資とならないようにしてほしい。 →需要予測については、保育所の建替えの検討にあたり、市内保育所全体の予測を行っています。現在、全体で606人の定員であるが、平成24年度では、予測入所人員が660人との推定をしています。 これまでの推移などから、お子さん自体は減ってはいますが、女性の社会進出などの要因により微増するのではないかと思います。	C	8
203	保育所を必要とする世代を呼び込む必要がある。保育所を建設するならば、そのための政策を併せて出してほしい。	C	8
122	保育所はまちに密着しているべきである。庁舎と一緒にする必要があるのか。ここに造る必要があるとは思わない。	C	9
138	子供の声はわりと響く、外で遊ばせることが大事であると思うので、その辺の配慮が必要である。	C	9
139	文化センターなどを利用する人も多く、静かな環境の中で子供の声が聞こえるのはどうかと思う。 →子供の歓声については、検討事項として考えている。文化センターとの距離を保つなどの検討を行いたい。	C	9
161	運動会、祭りなどの場において、太鼓など生の音を大事にしている。そういった大きな音を出したりすることができなくなるのではないかな。	C	9
21	保育所の仮設を建てる場所を市役所とすればいい。 →仮設といっても、保育所の機能が必要となるため、1億1千万円くらいを必要とします。	C	10
42	保育所等で建設費が5億となっているが、経費の節減になっていないのではないかな。 →中央保育所と併せて児童館の設置も含めて5億円となっています。保育所単体で別敷地に建て替えを行った場合、建物建設費3億円、土地取得費2億円となり移転費用や道路改修を含めると6億7千万円くらいかかる試算となります。	C	10
49	保育所、児童館を併設することによってコスト面はどれくらいのメリットがあるのか。 →保育所単独で、6億7千万円であり、現在の試算が児童館を含めて5億円となっているので、保育所分1億7千万円＋児童館単独建設費分の削減が図れます。	C	10
131	保育所を造る場合、補助金などはあるのか。 →保育所についてはない。児童館については工事費の2.6%がでる。	C	10
183	公園等を利用して、仮設の保育所を造ればいいのか。 →庁舎と一体となった場合、仮設の保育所は造らなくてよいこととなる。それができない場合、現在地で区画しながら造るか、別の場所での仮設建物が必要となります。また、仮設建物については他市事例で1億1千万円以上かかるとの話もあり、費用面でもかなりの負担となります。	C	10
244	保育所の建替えについては、とりあえず3保育所に振り分けて、その間に建設をすればいいのか。 →保育所の建替えについては、現在の敷地が狭く、現在地での建替えが難しいというところもあり、移転も含めた検討を行っているところです。 中央保育所の建替えを検討する中で、3保育所に分散してとの検討も行ったところですが、現実的には難しいとの結論となりました。 仮設の保育所を造った場合、それだけで1億円を超えてしまう。敷地の拡張を行う場合でも、その取得費用に相当の費用を要するようになってしまう。これらの費用が、庁舎と一緒に建設することにより削減できるので、庁舎との併設について検討を投げかけたところでもあります。	C	10

245	市の職員を削減する計画や、議員定数の削減などがあがっているが、保育所を併設することで、職員の人数が増えてしまうのではないか。人件費が削減されることが一番効果的である。 →財政状況が厳しい中で、職員を100人程度減らすということで計画を進めている。今後も、人件費の削減については、努力してまいりたい。	C	10
356	保育所は経費が増えるでしょうが別に検討してください。公共施設でいろいろな人の出入りが多くお互いに万一のことがあれば麻痺します。	C	10
59	いろいろな人が出入りするので、市役所と保育所との動線などしっかりした考えを持たないと理解を得るのが難しい。	C	11
150	保育所と庁舎を一緒に建てると、いろいろな人が来るので、気になり一緒に遊べたりできなくなる。	C	11
151	安全性の確保がきちんとできるか不安である。不特定多数の人が来る中で、どこまで管理できるのか心配である。	C	11
152	保護者の振りをして入ってこられてもわからない。	C	11
154	知らない人についていってしまうことも考えられる。	C	11
158	建物自体が隣同士というのがかなり気にかかる。中を分けるなどの措置をするのか。 →セキュリティカードなどを使って、それ以外の人が入れない等の対策も可能である。また、こども課を保育所近くに配置することによって、知らない人を入れないようにすることも考えられます。	C	11
159	セキュリティカードなどの導入にはお金がかかるのではないか。また、子供が発熱などをした場合、迎えを頼んだりするので、いつもの人と違う場合も考えられ、そのときの対応などに課題がある。	C	11
160	今の場所は見晴らしがよく、それが防犯面にもなっている。不特定多数の人がいると入口以外からも入ってくる可能性がある。	C	11
165	児童館と併設となっているが、それぞれを区画するのか。 →区画することとして対応し、出入りは出来ないようにする考えです。	C	11
200	保育所を併設すると安全性の面で問題があるのではないか。庁舎の駐車場がある中で急に飛び出したりすることも考えられ、安全性の確保ができるのか。 →安全性という面では、今の中央保育所は、道路が通り抜けに使われていて、職員が朝に交通整理を行っていた実態がありました。朝一番忙しいときに通り抜けや送迎が行われるのでなかなか安全性が確保されていない状況です。 それを市役所敷地に建設することによって、駐車場が確保されますし、また、送迎は朝夕の市役所の開庁時間とずれることから駐車場の兼用についても問題がない状態となり、今よりは安全性が確保されるものと考えております。	C	11
221	庁舎と保育所を一体にすると不特定多数の人が出入りをし、安全面に問題があるのではないかと思うがどうか。 →確かに市役所には不特定多数の人が出入りしますが、市の職員も多数いるのでそれによって安全が確保されるとの考え方もあり、設計上の配慮などともに今後の検討課題としていきます。	C	11

224	安全面を考えると、車の出入りが常にあり、事故の発生が考えられるところには、保育所と一緒に造らないほうが良いのではないかと。 →市役所との併設による検討事項の一つではありますが、市役所敷地を選定したひとつの理由として、現在の中央保育所における送迎時の安全の確保の課題があり、庁舎利用者と保育所の送迎時間がずれることから市役所の駐車場を利用することができ、それによる安全確保ができるのではないかと考えています。	C	11
225	駐車場に関しては、一緒に使うメリットがあるとのことだが、市役所へ行くまでに車の通行が増えてしまうのではないかと。現状でも大人が歩くのでも危ない状況である。小中学校の通学の時間帯とも重なり危ないのではないかと。歩車道の整備も伴い、そういった課題も出てくるのではないかと。 →市役所の建替え等に併せて、歩道の整備等周辺道路の整備についても検討を行っているところである。	C	11
272	駐車場の兼用による送り迎えの利便性の向上とあるが、不特定多数の車が出入りする駐車場。小さなお子さんが駐車場内を駆け回る状況が増えることを考えると、どのように安全の確保を図るかが大きな課題となると思う。メリットがデメリットにならないように十分協議する。これが、メリットのキーだと思う。	C	11
281	保育所入口と児童館等入口をホールで結ぶことでアクセスの自由度があがっているが、南側のロータリーが中途半端になっているため、通過する車と、止める車、時間によっては送迎の車が混雑する恐れがある。南入口は良いと思うが、車をあえて乗り入れず、広場的なつくりも考えられる。東に車寄せも考えられるのではないかと。もっと明確な人車分離を考慮したほうが良いと思う。	C	11
302	保育園を市庁舎敷地内に併設する場合も、各々の敷地を明確に区画し、入口等を区分して、両者の動線が混線しないようにすべきと思う。（幼児の危険防止のため）また、保育園の工事は市庁舎の完成後に行うべきと思う。	C	11
318	不特定多数の人が出入りする場所に保育所は不適切と思われる。危険性が強いと思う。案としては良いと思うが。	C	11

D:児童館、子育て支援センターに関すること

7

番号	意 見	区 分1	区 分2
10	一体で行うことは良い。日本一の子育て支援のまちとして、児童館も一体に造ることも良いことである。アクセス道路も含めて安全性を考慮してほしい。	D	1
276	子育て支援センターは庁舎にあることで、メリットがあると思う。合わせて、子ども、母親の交流の場をもうけることは、子育てに不安を持ったお母さんにとっては、心強い施設と思う。会議室等を使い、サークルの活動なども可能となる。	D	1
33	児童館について、その発想はいつ頃から入ったのか。 →単体の設置としてこども課での検討を行っていましたが、単体での設置は無理でした。あつてしかるべきとの考えから、保育所、子育て支援センター等と併せて本年度に入ってから検討を行うこととしました。	D	2

65	また、児童館についても検討がされているが、どのような経緯で検討が始まったのか伺いたい。 →児童館の建設については、市のこれまでの計画の中で以前より必要であるとされていました。併設が可能であれば一体的なものとして児童館、子育て支援センターなどを設置し、総合的な拠点として機能することから検討をして欲しいとしたところです。	D	2
140	児童館の設置とあるが、保育所以外の子供たちも遊べるのか。 →多くの子供が遊べる機能としたい。子育て支援センターとともに福祉関係の複合化を図りたい。	D	3
142	児童館は、体育館のような機能も持たせるのか。 →今後の検討により決めていく。子供公園にあるものとは違い、本来の機能を持ったものを想定している。	D	3
275	児童館は、子どもの遊び場と思うが、展示物など装置化したものは最初の利用だけであり、使われなくなるのが関の山である。設置のコンセプトを明確にして、規模、位置を決めていく必要がある。ご配慮ください。	D	3

E:その他

53

番号	意 見	区 分1	区 分2
17	他の合併した市町村を見ておくべき。	E	1
186	新しい市庁舎を造るのには、相当の期間がかかるが、その間に場合によっては合併の話も出てくると思われ、そのことについてはどう考えているのか。 →合併については、県でも枠組みが構想として示されているところではありますが、本市としては、合併はせずに自立をしていくこととしております。仮に、合併したとしても現在の北本にお住まいの方々のよりどころは、この庁舎であると考えられます。	E	1
216	桶川市との話し合いをしているのか。桶川市も決して財政状況が言いえず、きちんと話し合ってほしい。南部地区は、合併すると中心になる地域である。	E	1
217	合併が仮にあった場合、本庁舎とならないと思われ、管理部門や議場がいらなくなると考えられる。その辺の見通しはどうなっているのか。 →合併については、県などでも枠組みを示したりしているが、現在のところは、合併をせずに北本市は自立していくということで進めている。仮に、合併した場合であっても、北本の区域に住んでいる方々が避難したりするところは、北本の庁舎であると考えています。 将来を見据えて最小限度のものとして、比較的スリムな庁舎としたいと考えております。	E	1
237	合併については数年間はしないと思うが、県の枠組みが示されている。そのとおりではないとしても、合併をいずれはするのではないのか。 →合併につきましては、現在、独自に生きる道を模索しています。県としても、ひとつの枠組みを提示しておりますが、例えば合併があったとしても、北本の地域に住んでいる人たちがあつまる場として、庁舎は必要であると考えております。	E	1

249	市町村合併が考えられると思うが、今、北本市はどう考えているのか。建ててしまってから合併になって無駄な施設とはならないのか。 →本市については、現在、合併はせずに自立をしていくとしています。県が合併について枠組みを示しておりますが、例えば北本が合併したとしても、北本の地域に住んでいる方が集まる場所というのはこの市役所となるものと考えております。 華美なものせず、費用対効果を考えて計画を進めてまいります。	E	1
95	産業という点から考えると、市民のボランティアの受け入れ場所など市民参加の視点で考えてみるべきである。	E	2
115	市内の産業の展示スペースが文化センターや第4庁舎あるが、小さすぎる。産業と行政が一体となって作る必要がある。観光協会は撤退すべきとの話もあるが、なくなるとそういう人たちが育っていかない。	E	2
116	NPOなどの団体は拠点がないと続けられない。どこかに場所を借りたりするとその分が赤字となってしまう。	E	2
293	駅を先に作って下さい。何年待たせるのか？	E	3
298	南部地域にはこないで。優先順位が違うのだから、駅主体に考えて	E	3
300	誰かの言っていた駅と一体計画が望ましい。特に旧市街地には作るな。	E	3
351	南部地区での優先順位は、言うまでもなく、新駅の早急な開業である。話が出はじめてから、かれこれもう30年近くたってしまう。選挙の度に出ては消え、殆どお化けと化している。	E	3
353	市組織の見直し、急場の対応後、市行政・組織の大幅簡素化実施、民間委託ではダメな仕事は何か（民間委託できる仕事は何かではない）ゼロベースから出発し、本当に必要な仕事の組織・人員だけ残す。IT化の徹底推進、IT化等により、効率化の徹底を計る。（市行政のITモデルをつくるつもりで）分散化の推進、高齢社会にあって北本市は広すぎる、旧市街地の方迄行くのは困難になって来ている、行政機関は自宅近くにある方が良い。IT化の徹底があれば分散化には、殆ど問題なし。しかもエリア行政制度をとれば、より地域に密着し対応がスピーディになる。他市町村との共同化、同様な問題を抱えている。市町村と共同・協業化しITコストの引き下げを実施、新庁舎も同様に、例えば同じ問題を抱えている桶川市と共同庁舎を建立し、一部業務の一体化等を実施し、建設コスト始め諸コストの大幅削減を計る。場所は北本市と桶川市の境の南部地区、特に新駅建設地の上部等が望ましい現庁舎跡地を売却すれば、新規借り入れをする必要もほとんどなく南部地区悲願の駅建設も可能になる。尚、新駅単独の問題では、現在提案されている様なバブル期を凌ぐ計画・駅など必要はない。最低限の乗降できる駅・施設があれば良い。早く作ることが重要。（極端に言えば秩父鉄道駅でよい、鶏か卵かはまずひよこがほしいのです。）上記等を踏まえれば今回の市の建設計画は全面見直しが必要。	E	3
19	考え方をしっかりとしたほうが良い。	E	4
32	保護者や庁舎建設委員会への説明は行ったのか。 →庁舎建設委員会委員長への報告は行いました。各会派への説明を行いました後、庁舎建設委員会や保護者への報告を行う予定です。	E	4

34	1, 2回のガス抜きでうまくいくとは考えないほうが良い。	E	4
41	市民には、今回の資料全部出すのではなくわかりやすい資料としたほうが良い。	E	4
48	基本設計はどこの業者が行っているのか。 →公共建築協会により、H19、20年度2ヵ年債務負担行為、予算額500万円で委託しています。	E	4
54	H20年度に市民意見の聴取となっているが、どういう形で説明をするのか。市民からは取り入れてほしいという意見や、反対意見など多くの意見が出てくると思われる、どの程度の意見を参考とするのか。 →まずは、議員に対して説明を実施し、市民や団体に対しては、3案くらいに絞って説明をしたいと考えています。市内の各種団体や8圏域を対象に説明を実施を予定しており、そこでの意見を集約して基本設計のたたき台として取り入れていきたいと考えています。	E	4
60	今回示されたものは、たたき台とのことなので、今後もこういった場を設けてほしい。	E	4
61	資料の原案は、どのセクションで作成したのか。 →政策推進課が担当となっており、図面等の作成については外部委託をしております。	E	4
66	今後、議会を通して聞いていくことになると思う。市の内部で検討しただけであって、議会の委員会等で何も検討されていない。そういう状況のなかでこういったものが組み込まれていくことのスタンスは全く納得いかない。広義開かれた議論というか会議録等が全くない中で進められてしまうのは説明責任としては弱いのではないのか。 後日、承認する必要があると思うが、どうしたら法的にどう担保されていくという議論がないという意味では承知できない。	E	4
67	これまでどういう庁舎を造っていくかということを検討してきた。今回このような保育所の問題が入るとこれだけの意見が出てしまう。市民に分かりやすい資料を作成した方が良いのではないのか。	E	4
74	説明の中でもよその市のことが出たが、他の庁舎を見学しようという話を提案している。ここ5年間くらいで建替えを行っているところが何箇所かあるので、利便性の問題などで参考となる面があると思う。	E	4
77	視点を変えて、平成20年1月に市民意識調査を実施しており、その中で現在の庁舎に対する意向として聞いております。アンケート結果の1番多いものとしては、38%が「必要最低限の機能で新築する」とされ、と同時に「他の機能も兼ね備えた庁舎を新築する」の19.7%となっております。併せて60%の方が庁舎を造ることについては、賛成であるとの結果となっておりますが、他の機能を兼ね備えたというのは、保育所や児童館のことではなく桶川市のようにバリアフリーにしたり、議会棟などを独立させ、他にも使えるようにするなどの発想で回答していると思うが、この辺について、皆さんの意向がほとんど入っていないのではないのかという感じが非常に強く、この市民意識アンケートをどのように認識しているのか。 →庁舎として最小必要限度のものという点では、私どもも意見は一致しているところであり、なるべく最小限度で検討してございます。ただ、庁舎だけで言いますと約28億円の試算であり、そこからいくつか削減が図れば何とかできるのではと考えています。その他、水で冷やす装置、二酸化炭素の削減装置、屋上緑化などいくつか考えられます。	E	4

79	少なくとも財政的に有利な状況ではない。高齢化社会となり生産人口がどんどん減ってくることとなるが、市税のアップなどは考えられない。市民も7万人ベースとしているが、都市問題研究所の予測では、67,000人くらいと想定されている。当初よりも膨らませたものが提示されていて、自分達の力量に応じたものが検討されて然るべきである。2年前の時点では、合併という問題があった。将来的にも合併の問題を考えていかなければいけない中で80年間持つようなものを造って、3階、4階、5階が空洞になるような建物でいいのかとして発言させていただいた。	E	4
81	いままで検討してきた中で、規模などを何種類も検討をしたがここに示された計画案は配置が違っただけで建物は一つである。これをホームページに出します、市民説明会をしますとなると案とは言えないのではないかな。 →答申いただきました基本構想につきましては、十分取り入れてまいります。これを出発点として次の検討委員会等でも進めてまいります。今回は基本計画への前提ということで、配置図を提示させていただいたものであり、いただきました基本構想を基に最小限のものでたたき台を作らせていただいたところでもあります。これについていろいろなお意見をいただきまして、修正をかけながら基本計画を作って行きたいとしているところであります。	E	4
99	市民の代表である議会もOKしていると説得していく。	E	4
104	3次元の立体的なものなどがあるとわかりやすい。	E	4
105	人口動態なども併せて検討してほしい。	E	4
107	今後説明で各コミュニティに入るとのことだが、協働という面を踏まえて説明してほしい。前回聞いていて思ったのが、行政の説明の域を超えていないように感じた。	E	4
112	新座市役所などはかなり増築をしていて、グレードはかなり低い。	E	4
136	上尾市のように無理やり建ててしまっ、すぐに分庁舎を使うことになる羽目にならないようにしてほしい。	E	4
204	人口の予測を過去に見直ししているはずである。人口が減っているのはそのとおりであるが、それだけではなく、市としてのPRが下手なのではないか。新聞に取り上げられるようなものがあると、魅力が出せるのではないかな。他の市と同じでは、なかなかPRができない。 →市役所全体としても他の市町村から選ばれる市としていきたいと考えています。	E	4
209	よりよい環境で仕事をしてもらうことは良いかと思うが、最近の事例が本当にあっているのか、というところをいろいろ検討してほしい。	E	4
228	庁舎建設による市民へ対してのデメリットはないのか。19年度は1億の赤字になりそうだと話も聞いている。健康診断の受診も減らすなどの話も聞いている。年金生活者が20%に達しようとしている中で、市の税収の減や、今後景気が回復するのには5年、10年はかかる話もある。市債を発行したときに、何をマイナスとするのか。医療や福祉をマイナスとして、果たして市民サービスとなるのか。	E	4
230	市長選があるたびに庁舎建設の話が出て、飽き飽きしている。	E	4
257	庁舎建設の前に、埼玉地区の市町村の将来に向けての市政の展望を国、県、市町村全てが胸襟を開いて意見交換する必要があると思う。	E	4

258	なかなか難しい問題ですが新庁舎建設の前提としたある程度明確に公的確認を行っておく必要があると思う。	E	4
259	当市の「平成24年度までの財政収支予算の試算」が毎年の赤字、「平成19年度実質単年度収支」が赤字など厳しい財政運営についての論議が耐えないなかで、「中長期的な財政見通し」及び「市が保有する公共施設の財産の運営における中長期的な歳出の見通し」など全体的な財政運営の見通しが明示されることなく、新庁舎の建設のための特定の財源があるということで、「新庁舎の建設について」という全体中の一部分について、意見を求められても、意見を述べることはできない。	E	4
260	新庁舎の建設を論議する以前に「住民サービスのシビル・ミニマム」、「市の中長期的な財政見通し」、「市が保有する公共施設の財産の運営における中長期的な歳出の見通し」及び中長期的な「将来負担比率」等を策定し、明示することが急務であると考えます。	E	4
270	後の世代に、お荷物とならぬ施設を十分協議して設ける必要がある。その点で今、行政が行っている基本構想、基本計画の策定は、重要なスパインであり、間違った方向に進まないことを望みます。	E	4
308	随意契約や、借り貸しのある業者を廃し、公正な価格競争で建設費用を算定する。	E	4
309	初めに予算ありきではなく、基本計画の根本を考え直して。	E	4
310	新庁舎のメリットは何なの？それによって何が変わる。社員の意識につながるのか？疑問が沢山ある。	E	4
312	ある機会に伺った新庁舎建設に関する説明の中で3案が示され、内2案は保育所設置案。他の1案は庁舎のみで現実的でない案と伺い、初めに併設ありきと感じたのはとても残念だった。	E	4
313	パブリックコメントが形式だけの説明・聴取に終わらず形骸化しないことを望む。	E	4
325	今現在、文化センター脇にある本町公園は整備が進み大変賑わってるが、乳幼児の利用が多く見受けられる。考慮されたほうが良いかと思う。	E	4
326	現在もそうですが外部から来庁された方は市役所の場所が解り難いといわれている。	E	4
338	シンボル化は危険？	E	4
343	著名な建築家、アーティストに相談しては？今の北本はチャンス。	E	4
352	老朽化に対し、そんなに危険であるならば、特に危険な建物の部署は、早急に文化センターや学校等の空き教室へ移設すべき、安全の為市民の利用頻度の高い部署から移設、市民に当面多少の不便が掛かっても安全には代えられない。	E	4